

西部クリーンセンターは、
循環型社会形成の拠点として、
所沢市の快適な暮らしを支えます。



所沢市長
藤本 正人

西部クリーンセンター焼却施設は、平成元年の供用開始以来、排ガス等の法規制よりさらに厳しい基準値を設けて管理するなど、周辺環境に配慮した運営管理に努めてきたところです。

このたび、機能の維持・回復、省エネルギー化の推進を図ることを目的に、平成26年9月から平成29年3月にかけて「西部クリーンセンター基幹的設備改良(長寿命化)工事」を実施しました。

この改良工事により、省エネルギー機器を積極的に導入し、改良工事前と比較して、二酸化炭素排出量20%以上の削減を実現しました。

また、焼却施設南側の敷地に、新たに「市民持込みステーション」を建設することで、家庭ごみを持ち込む市民の皆様の利便性にも配慮しました。

このように新たに生まれ変わった西部クリーンセンターですが、今後も継続的に、適切な施設管理を行っていくことで、より安全で安定的なごみ処理体制を維持していきたいと考えております。

結びに、本施設の基幹的設備改良工事の完成にあたり、地元の皆様をはじめ関係各位の格別のご理解とご協力に対しまして、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

平成29年3月